

がん哲学外来さいわいカフェin茨城・筑西

さいわいニュースレター

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2019茨城 参加

第14号

SaiWai News Letter vol.14 2019/05/18

樋野興夫先生の言葉の処方箋

★空っぽの器には希望がある★

「空っぽの器」友の会という、がん患者を中心とした集まりがあり、私は会の顧問を務めさせてもらっています。

教育とは、「空っぽの器という場を与える」ことであり、人生とは、「空っぽの器に水が入っても穴があかないように、頑丈にしていく訓練」であり、良い出会いとは、「空っぽの器に水を入れてもらう」ことです。

最近自分ですべてと水を器に入れて満足している人が多いように思いますが、…たとえばがんと宣告されたり、会社を解雇されたりした時などに簡単に底に穴があいてしまいます。そうならないためにも濁った水は潔く捨ててしましましょう。

**濁った水で いっぱいの器では、
人生の色も どんよりしてくる**

がん患者さん、そのご家族の皆さんは、どうか新しい空っぽの器を備えてください。

その器は絶望の隣に座る希望です。



樋野興夫著
順天堂大学医学部 教授
がん哲学外来 理事長：
いのちのこば社
『種を蒔く人になりなさい』
より抜粋 (p.108-111)

●リレー・フォー・ライフ・ジャパン2019茨城●

Shake Hands ～つなごう命～愛と笑顔で
リレー・フォー・ライフ・ジャパン茨城は毎年5月につくば市で開催されている、がん患者さんのためのウォークイベントです。
令和元年、記念すべき10周年を迎えました。たくさんの方が楽しく笑顔になれ、参加することでがん患者さんの支援になります。

一人の小さな力でも
みんなが集まれば
大きな希望と勇気
なることを信じて



がん哲学外来さいわいカフェも皆さんと一緒に、ウォークイベントに参加しがん患者さんおよびそのご家族を応援したいと思いやってきました。今年2回目になります。がん患者さんもお家族もご友人も学生さんも関心を持つ方ならどなたでも参加できる

『気軽にさいわいカフェタイム』を開催します。どうぞお気軽にご参加ください。よろしくお願いたします。



◆ 第11回がん哲学外来さいわいカフェ報告・・・2019. 4.21sun ◆

第11回のさいわいカフェは、テーブルに飾られた菜の花と、スタッフ手作り揚げたておかきのいいにおいのするアットホームなひとときでした。筑西市にお住まいの3人の方が初めてご参加下さり、リピーターさんとスタッフ併せて13名でカフェタイムをもちました。樋野先生の著書から、「自分のことを考えるのは日に一時間もあればいい」との箇所を皆さんと一緒に朗読しました。後から、「朗読中にうるうるきてしまった」とのお話を聞き、言葉の力を実感しました。テーブルごとに、病気や体調のこと、ご家族のこと、趣味のことなど、お互いに話したり聴いたり、放したり聞いたり、、、あっという間に時間が過ぎていきました。

ちょうどイースターだったので、色とりどりのイースターエッグの中から好きなものを選んでいただいて、当たりの出た方にはプレゼントが贈られました。なごやかな平成最後のさいわいカフェの思い出作りとなりました。 さいわいチャウチャウ 海老澤規子

